

第7期多摩区地域福祉計画 令和7年度事業評価

第7期各区地域福祉計画(令和6～8年度)における評価に係る考え方について

✓ 評価の目的

年度ごとに施策ごとの実施状況や計画の達成状況を把握し、取組の総括を行うとともに、次年度事業の改訂の必要性の要否を検討、必要な対策を講じることを目的に評価を行います。また、計画の評価に際して、住民による継続した地域福祉活動への動機付けとなることを重視して評価を行います。

✓ 評価方法

(1) 評価項目

基本目標ごとの重点項目（基本方針）

- ・基本目標1 一理解と共感を広げる情報発信と場の創出
- ・基本目標2 一身近な地域での支え合い活動の推進
- ・基本目標3 一支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

(2) 取組状況

重点項目（基本方針）のうち、数値で事業の実績・効果等を把握できる重点的な事業を抽出し、具体的な取組結果を記載しています。（例：事業回数、参加者数、登録者数など実績を入力）

(3) 取組状況に対する評価

「区役所の評価」、「連携した団体・区民等の評価／意見」を記載しています。「区役所の評価」においては、結果や成果のみならず、プロセスとして工夫したことなどを記載しています。

(4) 事業の達成度

達成度	総合計画の指標	区地域福祉計画における評価の考え方
1	目標を大きく上回って達成	プロセスとして創意工夫したことがあり、効果も大きいと判断される場合
2	目標を上回って達成	
3	目標をほぼ達成	プロセスとして創意工夫したことがある又は、効果が一定程度評価できる場合
4	目標を下回った	プロセスとして創意工夫した点がなく、効果も評価できない場合
5	目標を大きく下回った	

(5) 特筆すべき取組を含めた総評

総評を記入するとともに、次年度に向けて改善点を記載しています。

基本目標1 区民一人ひとりが参加する地域づくり

重点項目1 理解と共感を広げる情報発信と場の創出

(参考資料4 令和7年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和7年度）
3 パサージュ・たま (地域ケア推進課)	①「パサージュ・たま」を多摩区役所1階アトリウムと登戸南北自由通路で開催しました（年22回）。 ②多摩区ソーシャルデザインセンターで、「パサージュ・たま」参加団体の作品の常設展示・販売を行いました。 ③実施要綱の改正により参加要件を見直し、障害福祉サービス事業等を行う団体が幅広く参加できるよう整理した結果、新たに2団体が参加しました。	【区役所の評価】 ①原則月2回（8月を除く）開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。また、登戸駅での開催により障害に関する普及啓発を効果的に実施することができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①②「アトリウムや登戸駅南北自由通路、多摩区ソーシャルデザインセンターなど様々なフィールドで、障害について知っていただけることがうれしい」（パサージュ・たま参加団体） ③「地域や他の団体とのつながりを作りたいと考えていたため、パサージュ・たまに参加できてよかった」（新規参加団体） 
6 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信 (地域ケア推進課)	①こどもタウンニュースたま区版を発行し、区内公立小学校及び私立小学校にて配布（9月約10,000部） ②区役所1階アトリウム等で地域包括ケアシステムに関するパネル展示を実施しました。 	【区役所の評価】 ①身近にある地域包括ケアシステムの取組を小学生にも分かりやすいよう平易な表現で紹介したことで小学生への普及啓発を強化できたと考えます。地域包括ケアシステムの認知度が特に低い30歳～49歳の子育て世代における認知度を向上させるため、読者プレゼントの応募に、記事を読んで回答するクイズや保護者向けアンケートを盛り込み、保護者が記事を読むプロセスが生じるよう工夫しました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「この記事を読んで地域包括ケアシステムについてのどの程度理解できましたか」という設問に対し、回答した保護者92名のうち12人が『他の人に考え方を説明できるくらい理解できた』、65人が『説明するのは難しいが、だいたいの内容を理解できた』と回答（読者アンケート）
8 認知症についての正しい理解の普及啓発 (地域支援課)	①9月のアルツハイマー月間にあわせ、庁舎1階のアトリウムにて、新しい認知症観や小中学校で実施した認知症サポーター養成講座の感想などを掲載したチラシ、パンフレットを配架展示しました。 ②認知症サポーター養成講座を受講した子どもたちを含め、さらなる理解を深めるため、小学校で、認知症関連の絵本や、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」等に関する展示を行いました。	【区役所の評価】 ②小学校での展示は、講座終了後に認知症普及啓発活動の一環として、対象学年だけでなく、全児童に「認知症」に触れてもらう機会となりました。また保護者の出入りの多い面談期間中の展示となったため、保護者含む学校全体の普及啓発につながりました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ②小学校での展示では、「講座を実施した学年以外の児童も展示を見たり、認知症サポーターのキャラクター「ロバ隊長」の人形や絵本に触れたりする場面が見られた」（小学校教員）
特筆すべき取組を含めた 総評(令和7年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 地域のつながりや支え合いの大切さへの理解・共感を広げ、区民が安心して生活していくために必要な情報を適切に得られるよう、多様な媒体を活用した情報発信や体験型の普及啓発を引き続き推進します。また、区民にとって気軽に関われる地域活動への入口づくりや、対象に応じた情報発信の充実を進めていきます。	

基本目標2 多世代交流でつながる地域づくり

重点項目2 身近な地域での支え合い活動の推進

(参考資料4 令和7年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和7年度）
47 地域包括ケアシステムの推進 (地域ケア推進課)	①「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたみつけ！」をテーマに、地ケアフォーラムを開催（157人参加※前年比約2倍） ②区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施 ②-1 登戸地区 ・のぼりとミーティング - 交流会を2回開催 ②-2 菅地区 ・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ - 交流会を2回開催 ②-3 中野島地区 ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 - 協議会を2回開催 ②-4 稲田地区 ・長尾小学校わくわくプラザでの小学生向け防災講座、緑化センターでの子育て世代向け防災講座を実施 ②-5 生田地区 ・西三田団地において、高齢者の見守りに関する、ボランティアによる戸別訪問のスタートに向けた各種伴走支援	【区役所の評価】 ①地ケアフォーラムの広報について、区内郵便局でのチラシ配架、区役所総合庁舎2階渡り廊下を使用した横断幕の設置等、多様なアプローチによる工夫を行いました。第1部では地域活動の先輩による体験談トークを行い、参加者の参考になるようアプローチを工夫しました。区職員同行のもと、地域活動団体の活動を見学できる「ちょこっと活動見学」を設定し、次の一歩につなげるアフターフォローができました。 ②各地区の特性に応じて、多様な主体による協働・連携に向けた協議会・交流会等を開催してネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、地域包括ケアシステム構築のための基盤の安定を一層図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「自分たちの活動を知ってもらうことが参加者が増えたら嬉しい。地域の方と関わるいい機会になった」（地ケアフォーラム出展団体） ①「地域活動団体や地域で活動する人と話ができた」「地域活動団体の活動について情報を得られた」（地ケアフォーラム参加者アンケート） ②-2 菅地区 「色々なアイデアがもらえるのでとても参考になる」 「貴重な“顔の見える場”を企画してもらえてありがたい」（地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～参加者）     
特筆すべき取組を含めた 総評(令和7年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 住民や事業者、関係機関、団体と連携しつつ、多様な主体による協議会や交流会等の開催を引き続き実施していきます。また、世代や背景の異なる住民同士が交流する機会が広がるよう、誰もが気軽に参加できる活動・交流の場づくりを推進するとともに、身近な地域での活動を支え、つながりを広げる取組を進めます。	

第7期多摩区地域福祉計画 令和7年度評価

基本理念：多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり

重点項目3 支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

(参考資料4 令和7年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和7年度）
5 1 新生児訪問・こ んにちは赤ちゃん訪問 （地域支援課）	①看護職による新生児訪問等（1,400 件）、民生委員等の地域住民の訪問員によるこにちは赤ちゃん訪問（194 件）。 ②出生後1か月以上経過しても出生連絡票が提出されていない場合は、ハガキの送付や地区担当保健師の電話・訪問により提出勧奨を実施しました。	【区役所の評価】 ①乳児期の早い段階で訪問を行うことで、育児負担のある保護者の早期把握と支援を行う事ができ育児負担の軽減につながっています。また、地域の住民と知り合える機会となり孤立育児の防止につながっています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「新生児訪問で育児相談ができ良かった」「新生児訪問で紹介された母子保健事業に参加し友人ができた」（新生児訪問を受けた保護者）
5 5 ひとり暮らし等 高齢者見守り事業 （高齢・障害課）	①ひとり暮らし高齢者等を対象とした生活状況調査（郵送）を実施しました。調査に基づき回答内容を民生委員児童委員と共有し、日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携しました。	【区役所の評価】 ①回答いただいた調査票は、個人情報保護に配慮しながら民生委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につなぎました。また、リスクのある高齢者の早期発見・実態把握に活用しています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①民生委員の方と連携し、高齢者に対して適切な見守り活動を行うことができました。一人暮らしの高齢者の方からは、見守りがあることで安心して過ごすことができるとの声がありました。
5 8 川崎市地域見 守りネットワーク事業 （地域ケア推進課）	①協力事業者等から連絡のあった、異変のある地域住民の情報を基に関係部署と連携し、訪問等による必要な支援を実施しました。（通報件数7件 ※令和7年1月1日～12月31日）	【区役所の評価】 ①住民の異変に係る事業者からの通報に迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。
特筆すべき取組を含めた 総評(令和7年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 一人ひとりの困りごとを見逃さず、必要な情報を提供し、適切な支援やサービスにつなげることができるよう、気軽に相談できる体制の充実を図ります。また、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、区民や民間事業者と連携しながら、支援が必要な人に気づき、見守り、支え合う仕組みづくりを進めます。	

